



「筑波SBI地域活性化ファンド」投資決定のお知らせ

筑波銀行（頭取：生田 雅彦、本店：茨城県土浦市）は、SBIグループと共同で設立した「筑波SBI地域活性化ファンド」による初めての投資先として株式会社ワープスペース（代表取締役：常間地 悟、本社：茨城県つくば市）と Veneno Technologies 株式会社（代表取締役：吉川 寿徳、本社：茨城県つくば市）の2社に対する投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

株式会社ワープスペースは、世界初となる低軌道人工衛星向けの衛星間光通信ネットワークサービスの実現を目指す筑波大学発のベンチャー企業です。宇宙や人工衛星に関する高い専門性に加え研究学園都市“つくば”ならではの研究機関とのパートナーシップを強みに宇宙開発を進めています。

Veneno Technologies 株式会社(ベネイノテクノロジーズ)は高い生理活性を持つペプチドである DRP (ジスルフィドリッチペプチド^①)に着目し、DRP 創薬を加速させる新たなソリューションとしての独自技術を開発する産総研技術移転ベンチャーです。これまで困難とされていたイオンチャネルなど膜たんぱく質を標的とする創薬事業を進めています。

両社ともに、つくばを起点に今後活躍が期待されるベンチャー企業です。筑波銀行では、地方創生への取り組みに積極的に参画するため、「筑波SBI地域活性化ファンド」による投資を通じ、将来性ある地域のベンチャー企業の成長を支援し、地域経済の発展に貢献してまいります。

1. 出資先企業 株式会社ワープスペースの概要

社 名	株式会社ワープスペース
代 表 取 締 役	常間地 悟
本 社 所 在 地	茨城県つくば市吾妻 2-5-1 つくば市産業振興センター203
設 立	2016年8月
事 業 内 容	衛星間光通信ネットワーク構築事業
そ の 他	筑波大発ベンチャー

2. 出資先企業 Veneno Technologies 株式会社の概要

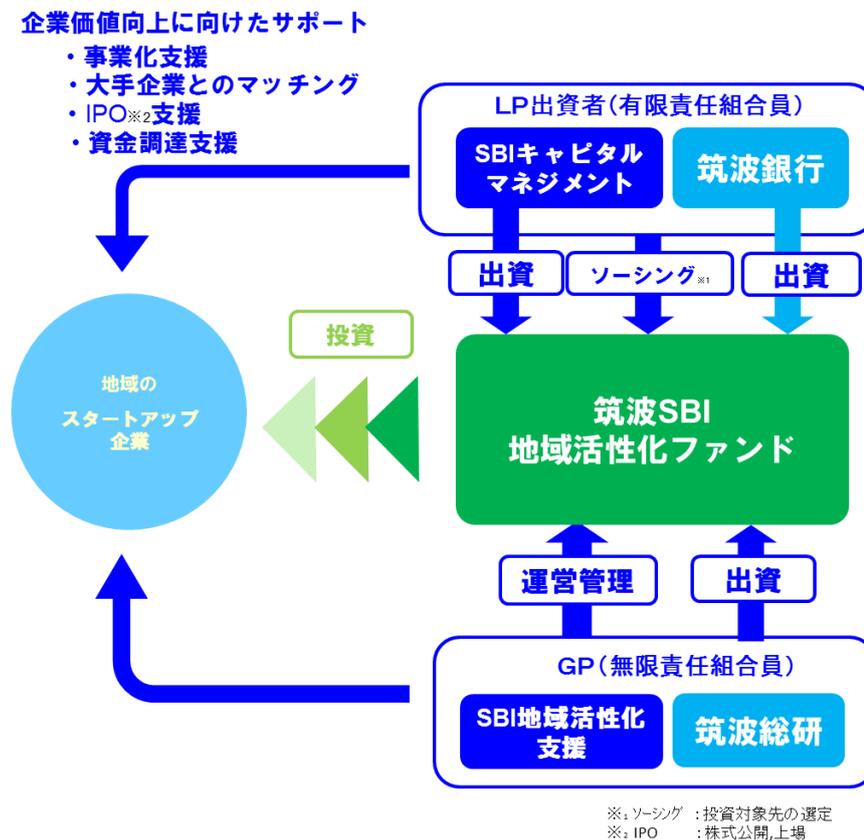
社 名	Veneno Technologies 株式会社(ベネイノテクノロジーズ)
代 表 取 締 役	吉川 寿徳
本 社 所 在 地	茨城県つくば市吾妻 2-5-1 つくば市産業振興センター
設 立	2020年7月
事 業 内 容	イオンチャネルやトランスポーター、GPCR など膜たんぱく質を標的するジスルフィドリッチペプチド医薬品の創薬事業
そ の 他	産総研技術移転ベンチャー

①DRP: 動物の毒液にみられる強力な生理活性を持つペプチド。分子内に3つ以上のジスルフィド結合を有する特徴的な構造をもつ。

3. 筑波 SBI 地域活性化ファンドの概要

名 称	筑波 SBI 地域活性化ファンド投資事業有限責任組合 (通称：筑波 SBI 地域活性化ファンド)
設 立 日	2021年7月21日
運 用 期 間	2030年12月31日まで
出 資 者	株式会社筑波銀行 筑波総研株式会社 SBI キャピタルマネジメント株式会社 SBI 地域活性化支援株式会社
ファンド運営会社	筑波総研株式会社 SBI 地域活性化支援株式会社
投資対象企業	筑波銀行の営業エリアで事業を営む未上場企業のうち、将来性のある事業に取り組むスタートアップ企業

(ファンドスキーム図)



以上

<p>報道機関のお問合せ先</p> <p>筑波銀行 総合企画部広報室</p> <p>TEL 029-859-8111</p>
--